

令和6年度備前県民局地域づくり支援事業 最終報告

実施団体：オカリーナ Rits&Fellows 倉敷

担当課：備前県民局地域政策部環境課

＜事業名＞桃太郎の願い～川の清掃と共に楽しむ環境フェスティバル～

＜事業概要・各主体の役割＞

（事業概要）

本事業は、海ごみ・川ごみ問題の啓発・学習を目的とし、市街地から発生する川ごみの削減につながる活動を行った。特に、分解されにくいプラスチックごみ問題に焦点を当て、川の清掃活動を実施することで現状を把握し、より能動的な環境保全に繋げた。また、「桃太郎の桃が流れてきた川」のイメージを通じて、過去と未来の川のあり方を考察し、桃太郎のメロディーが吹ける「もも笛」を活用したワークショップや環境フェスティバルも開催した。

● 5月19日（日） 笹ヶ瀬川クリーン作戦

場所：笹ヶ瀬川中流（岡山市北区平田、南区古新田）

参加者：合計 49 人

回収ごみ：173.7kg

● ワークショップ（県内6ヶ所で開催）

7月21日 天神山文化プラザ（岡山市）

7月28日 瀬戸内市中央公民館（瀬戸内市）

8月4日 荘内市民センター（玉野市）

8月25日 ひなせうみラボ（備前市）

9月8日 和気町中央公民館（和気町）

10月13日 熊山英国庭園（赤磐市）

参加者：合計 135 人（子ども 76 人、大人 59 人）

● R.7年1月26日（日）環境フェスティバル

場所：天神山文化プラザホール

参加者：合計 126 人

内容：環境講演会、プロミュージシャンによる演奏、「ふるさと」「桃太郎」の歌を、ワークショップ参加者の「もも笛」演奏と共に来場者全員で合唱。

（各主体の役割）

- ・実施団体：事業の計画・実施、実行委員会の開催、事業報告書の作成
- ・担当課：事業企画協力、補助金交付

＜実施状況＞

5月19日（日）笹ヶ瀬川クリーン作戦

川ごみの現状を把握するため川ごみホットスポットでもある笹ヶ瀬川中流でクリーン作戦を実行した。通常のクリーン作戦では拾うことのできない水辺のごみをカヌーパーク OKAYAMA と、海ごみ清掃活動の経験がある岡山後楽ライオンズクラブの協力により実現した。クリーン作戦を安全に開催するため、カヌーと陸上の現地見は計 10 回以上、実行委員会は 4 回行った。その結果、笹ヶ瀬川の水位変化や天候に対応するためカヌー発着地は 2 か所（笹ヶ瀬川と足守川の合流地点の三角州と金谷港）を確保。陸上班拠点として平田側河川敷、カヌー班拠点として古新田第 2 緑地を確保。備前県民局管轄外のため岡山市、地元町内会、漁協などの連絡先を探し

て申請や調整を行った。クリーン作戦当日は主催団体、カヌーパーク OKAYAMA、岡山後楽ライオンズクラブ（大学生会員含む）、近隣企業からの参加者が 49 名。合計 173.7 kg（可燃ごみ 142kg、不燃ごみ 31.7kg）可燃ごみにはペットボトルやプラスチック容器が多く含まれていた。川で行うクリーン作戦は参加者の安全を考慮し活動時間、場所を決める必要があった。体調不良やケガに対処できるよう医師と看護師も活動に参加。回収したごみは岡山県の河川ごみ等回収促進事業として処理。クリーン作戦の様子を動画撮影し、後のワークショップや環境フェスティバルに利用した。クリーン作戦当日は、予報に無い降雨や強風による気温の低下などがあったが、事前準備によりトラブルを回避することができた。しかし河川での活動についての慎重で入念な計画と準備の必要性を再認識した。



ワークショップ

7 月 21 日岡山市、7 月 28 日瀬戸内市、8 月 4 日玉野市、8 月 25 日備前市、9 月 8 日和気町、10 月 13 日赤磐市の県内 6 か所で開催。

ワークショップの内容は各会場同じ。参加者は地域の子どもと保護者が中心。総勢 135 人（子ども 76 人、大人 59 人）が川ごみを中心とした環境学習と、桃の形のオカリナ「もも笛」に絵付けと演奏する内容を楽しんだ。

参加者アンケートの結果、川ごみやプラスチックごみについて学べたかという質問に対して、「よく学べた」「学べた」という回答は 100%。絵付けをしたもも笛を誰かに見せたり、演奏を聴いてもらいたいという質問には 90%が「そう思う」との回答であった。学びと、学びを広める機会を作ることができた。また、アンケート調査には岡山県制作「プラスチックスマートハンドブック」に掲載のプラスチック問題を食い止めるための行動項目を活用した。

本事業ではアンケート調査をイベント当日と 1 か月後に実施した。当日の意識変容と、1 か月後の行動変容に結び付いているかを確認した。その結果、①マイボトルを持つを実行した人が 79%で最も高くなった。この行動は日常生活でも取り組みやすく、定着しつつあると考える。他にも②マイ容器を使う、⑨分別を徹底する、⑬落ちているごみを拾うなどの行動が高い数値で現れた。

このことから、本イベントは参加者の環境配慮に対する行動変容を促していると考えられる。



R.7年1月26日（日）環境フェスティバル（天神山文化プラザホールにて開催）

当日プログラム

13:00 開会 実行委員長挨拶、来賓祝辞

13:10 環境講演会 環境学習プラザ「アスエコ」所長 山田哲弘氏
「川ごみを減らすために私たちができること」

13:40 ビデオ上映「笹ヶ瀬川クリーン作戦」、「ワークショップ」

14:05 バンド演奏 小鳥トリズム 「浜辺の歌」など自然を連想できる曲を演奏

14:25 「ふるさと」来場者と共に合唱

14:40 ワークショップで制作した子どもたちの「もも笛作品紹介」

14:45 もも笛合奏「桃太郎」もも笛と合唱

14:55 終演

環境と音楽を融合させた独自のイベントとなった。環境の講演だけではなく、もも笛の演奏や、歌を歌う参加型のコンサートにより、楽しみながら学びを深めることができた（来場者アンケート回答：よく学べた 79.2%、学べた 9.1%）。上記のホールイベント以外にも、笹ヶ瀬川の自然の写真をスクリーンで紹介した他、ホワイエでは子どもカヌー体験、2050年の海・魚釣りゲーム、もも笛展示など、来場者を楽しませる工夫を行った。



<成果・効果>

実施団体：環境問題を解決するためには、大きく分けて「規制」「技術革新」「教育」の3つの方法がある。規制は、環境問題を引き起こす物質や原因を法律などで制限する方法である。技術革新は、問題となる物質を除去したり、発生させない技術の開発を指す。これら是对処療法的な側面が強い。一方で、教育は、問題が発生しないようにするための知識や意識を養う手段であり、一般的に「環境教育」と呼ばれる。環境教育は、環境問題への理解を深め、持続可能な社会の実現に向けた知識や態度を育むことを目的としている。

本事業の実施を通じて、参加者は川ごみなどの環境問題について学ぶとともに、実際の行動変容につながっていることがアンケート結果から明らかになった。今後も引き続き、ホットスポットに指定されている笹ヶ瀬川のクリーン作戦を継続するとともに、ワークショップを通じた学びの機会の提供や、フェスティバルを通じた情報発信を行うことで、より多くの人々の意識変容を促し、最終的には行動変容につなげる必要があると考える。

また、本事業では、岡山県の文化的財産である「桃太郎」の物語を活用し、川ごみ問題を音楽という新たな視点から取り上げた。これにより、子どもから大人まで楽しみながら学べる機会を提供し、これまで環境問題を「自分ごと」として捉えられていなかった人々へのアプローチにつながったと考えられる。今後さらなる波及効果が期待されるため、事業の継続的な実施が重要である。

担当課：5月に行ったクリーン作戦の様子を収めた映像作品は、ワークショップの参加者の興味や関心を引きつけるなど、とても効果的な啓発材料となっていた。また、カヌーを使ったクリーン作戦はめずらしく、通常では手の届かない所（岸辺等）へのアクセスを可能とするなど新しい手法の成功例となっており、広がりが期待できる。

＜課題・今後の方向性＞

（課題）

実施団体：

【 アンケート方法の改善課題 】

Google フォームを活用したことで、1か月後の追跡調査がしやすいという利点があった一方で、回収率の低さが課題となった。今後の改善策として、①実施当日に現地で記入してもらい、直接回収を行う、②1か月後のアンケートは、協力依頼文を添付し、協力団体の代表を通じて依頼する、などを検討していきたい。また子どもの回答率を上げるためには保護者によるヒアリング協力を依頼したい。

【 ワークショップ・環境フェスティバルの集客 】

初年度のワークショップは単独開催が中心だったが、来年度は学校園や地域の公民館と連携して開催することで、地域との結びつきを強め、本事業の発展につなげたい。岡山県主催「海ごみフォーラム」参加時に協力を呼びかけた際、公民館など複数の団体から問い合わせがあり、関心の高まりを実感した。ワークショップへの参加者を増やすことで、環境フェスティバルの集客向上にもつなげていきたい。

担当課：海ごみ対策として、河川清掃と桃笛のような文化的活動と結びつけて行う啓発事業は珍しく、独創性がある一方で、事業の性格上、会場費や講師謝礼等の経費が必要なため、補助金以外の財源確保やコスト削減等も検討する必要がある。

また、この取組を根付かせるため、事業の最終形をイメージし、どのような形で進めていくべきか等を整理しておくことが適当と思料される。

（今後の方向性）

実施団体：海ごみ・川ごみ問題の解決には、一般市民の意識改革と行動変容が不可欠である。本事業を通じて、地域住民が主体的に環境問題に取り組む風土を岡山県全体に広げ、「地域の川から未来を変える」事業モデルとして、持続可能な社会の実現に貢献していきたい。

また、本事業は地域への共感を生みやすく、地元企業からの協賛を得やすい点も強みである。さらに、クリーン作戦には活用可能な補助金や助成制度が複数あるため、これらを積極的に活用しながら事業を継続・発展させていきたい。

担当課：イベント後のアンケートにより、参加者の行動変容の効果を測定しており、今後も継続して実施することが適当である。

環境フェスティバルでは、広く県民の関心を集められるような広報を期待するとともに、この新しい取組の成果を県民の心に深く刻んでいただけるよう、魅力的な内容にしていきたい。

また、さらに広く備前地域に効果を及ぼし続けるような事業に発展させていきたい。

あいしよう
愛称

ももかん
桃太郎

でおぼえてね!



桃太郎 の 原真い



川の清掃と共に楽しむ 環境フェスティバル 2024

2025 年

1月26日(日)

天神山文化プラザホール

岡山市北区天神町8-54

13:00 ~ 15:00 (開場 12:30)

入場無料 要申込

プログラム

《講演会・ビデオ上映》

「川ごみを減らすために
私たちができること」
「笹ヶ瀬川クリーン作戦」
講師 山田哲弘氏

《バンド演奏》

「小鳥とリズム」

- ・もも笛作品発表
- ・もも笛合奏「桃太郎」

もも笛をお持ちの方は
当日ぜひお持ちください



当日演奏する桃太郎の
楽譜と音源
YouTube



環境講演会&ビデオ作品で
クリーン作戦の様子を体感。
バンド演奏や「ふるさと」の
歌声、「桃太郎」の合奏で、
みんなで楽しみながら
学べる1日。



令和6年度 岡山県備前県民局 地域づくり支援事業

みなさんおなじみ桃太郎の物語。その桃太郎
のモデルになったと言われる川「笹ヶ瀬川」を
知っていますか? 近年問題になっている海や川
のプラスチックゴミ。残念ながら笹ヶ瀬川も
例外ではありません。この川をどんぶらこと
流れてきた桃を「食べたい!」と思えるような
きれいな川に。みんなで楽しむ環境フェスティ
バルのはじまりはじまり!



公益財団法人 岡山県環境保全事業団
環境創造部 環境学習プラザ「アスエコ」所長

山田 哲弘氏

福山大学工学部卒。1994年、財団法人岡山
県環境保全事業団入団後、県内の植物調査
業務を担当。県版レッドデータブック、野
生生物目録の作成にも携わる。県自然保護
センターなどでの勤務を経て、2023年4月
から環境学習プラザ「アスエコ」所長。身
近な自然体験を通して、その素晴らしさ、大切
さを伝え、同時に、地球温暖化や海洋プ
ラスチック問題、生物多様性の減少などの
環境問題について解決への行動を促す活動
を展開している。



小鳥とリズム

オカリナ・作曲 軽部りつこ
ギター 松森弘之
ベース 荒木くろ
パーカッション 片山wakaba 貴志
アコーディオン 檜山学



<公共交通>

JR 岡山駅からバスで四御神行、または瀬戸駅行「表町入口」下車、
または藤原団地行「天神町」下車、または路面電車で東山行「城下」下車徒歩3分
マイカー/JR 岡山駅から約5分
<駐車場>
23台 無料 (満車の場合は恐れ入りますが近隣のコインパーキングをご利用ください)

●お申し込み先●

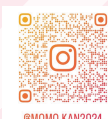


👉お申し込みはこちらのQRコードから
または下記メールアドレスからお申し込みください
momobueokayama@gmail.com

お問い合わせ 桃環Webサイト お問い合わせフォーム
<https://momotaro-negai.mystrikingly.com/>



桃環 web サイト



インスタで情報発信中!

これまでの
活動報告は
裏面へ!



令和6年度 岡山県備前県民局 地域づくり支援事業

主催 オカリナ Rits&Fellows 倉敷

協力 カヌーパークOKAYAMA 岡山後楽ライオンズクラブ

後援 山陽新聞社 岡山市教育委員会

イベント監修 山田哲弘氏

協賛 (株)ブローバ 清水内科医院 岡山大同青果(株) (株)難波塗装店 (株)伊澤工務店 studioさんぼみち



桃太郎の願い 川の清掃と共にも楽しむ 環境フェスティバル

2024年活動報告



笹ヶ瀬川クリーン作戦

実施日：2024年5月19日（日）
実施場所：笹ヶ瀬川中流
（岡山市北区平田、南区古新田）

参加者：49名

協力：カヌーパークOKAYAMA
岡山後楽ライオンズクラブ

可燃ごみ 不燃ごみ
142kg 31.7kg
合計 **173.7kg**
のごみが集まりました！



カヌーで川ごみを集める様子。カヌースクールの小学生も活躍。大学生も大勢参加してくれました。



川ごみを減らすための取り組みや、環境についての学習会も同時に開催しました。



集めたごみを分別する様子。

川ごみ削減啓発動画を作成。今日からできるごみ削減方法をワークショップで伝えました。

ワークショップ

岡山県内6会場で開催

7/21 天神山文化プラザ 7/28 瀬戸内市中央公民館 8/4 荘内市民センター
8/25 ひなせうみラボ 9/8 和気町中央公民館 10/13 熊山英国庭園

総勢134人（子ども76人、大人58人）に川ごみを中心とした環境学習と
もも笛に絵付け&桃太郎を演奏するワークショップを開催しました。



もも笛に絵の具で自由に絵付け。個性豊かなオリジナルのもも笛ができました。



ワークショップ参加者アンケートより

- ・地球や川ごみについて親子で学べて、すてきな時間を過ごせました。（和気町・家族で参加）
- ・もも笛の絵付けが楽しかった。（岡山市・小学4年生）
- ・できあがったもも笛を誰かに見てもらいたい。（玉野市・小学2年生）
- ・海だけでなく川ごみのことなど、今までより環境問題について知ることができた。（備前市・小学6年生）

令和6年度 岡山県備前県民局 地域づくり支援事業

主催 オカリーナ Rits&Fellows 倉敷

協力 カヌーパークOKAYAMA 岡山後楽ライオンズクラブ

後援 山陽新聞社 岡山市教育委員会 イベント監修 山田哲弘氏

協賛 (株)ブローバ 清水内科医院 岡山大同青果(株) (株)難波塗装店 (株)伊澤工務店 studioさんぼみち